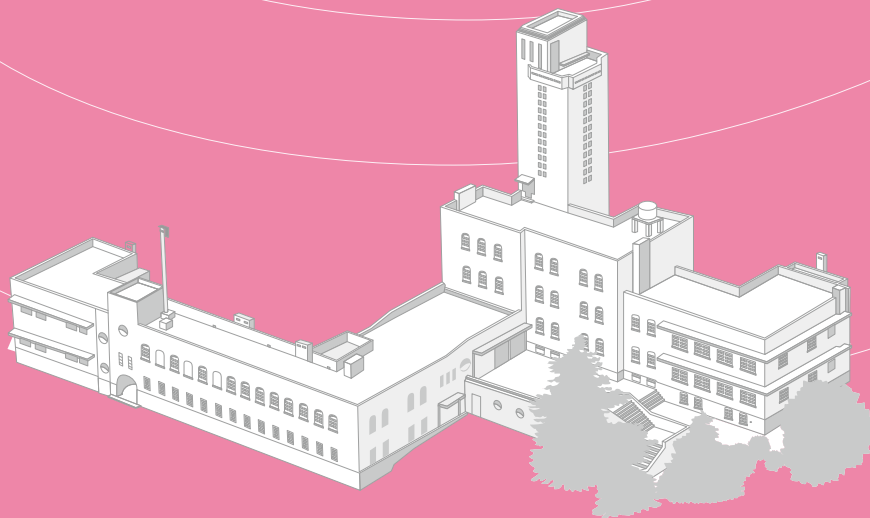


阿武山

Q

「津波でんでん」
「正しく恐れよ」
これらの言葉にはどんな意味が
込められているのですか？

京都大学防災研究所 阿武山地震観測所
阿武山サイエンス・ミュージアム構想



地震学 × 減災学 対話 2014-15

■講座シリーズ：

最終回（第4回） 2015年3月7日（土） 10:00-12:00

★オプション・プログラム「阿武山サポーター制度のご案内」 12:15-12:45（予定）

■会場：高槻市役所 総合センター 3F 研修室

所在地 高槻市桃園町 2-1（最寄り駅：JR 京都線 高槻、阪急京都線 高槻市）

■参加費：無料

■定員：各回 40 名・先着順に受付

■対象：高校生以上

対話

主催：阿武山サイエンス・ミュージアム構想プロジェクト
<http://abuyama.com>

Abuyama dialogues

地震学 × 減災学 対話 2014-15

京都大学阿武山地震観測所（高槻市奈佐原）は、現在は耐震改修工事のため一時休所となっております。リニューアルオープンを迎える 2015 年度、これまで進めてきたサイエンス・ミュージアム構想をいよいよ具体化して行く予定です。

本構想では、この準備期間にあたる 2014 年度後半に、高槻市内に会場をお借りして、「Abuyama dialogues＝阿武山対話」と題する学び合いのシリーズを設け、これまで観測所を通じて知り合ったみなさま、そして新たに出会うみなさまと、つながりを深め、防災・減災につながる地震観測の最先端や、減災社会実現のために取り組まれる最新の事例を学んできました。今回はいよいよこのシリーズの最終回となります。みなさまにご参加いただき、阿武山観測所のリニューアルオープンに向け、ともに歩み出せませすことを願っています。

ぜひご参加ください！



講座シリーズ 第4回 参加者募集

- 日 程：2015 年 3 月 7 日（土）10:00-12:00（オプションプログラム-12:45）
- 会 場：高槻市役所 総合センター 3F 研修室 所在地：高槻市桃園町 2-1
- 参加費：無料 ■ 定 員：各回 40 名・先着順に受付 ■ 対 象：高校生以上



「てんでんこ」に避難？（高知県四万十町興津小学校における津波避難訓練の様子）

津波 てんでんこ

正しく 恐れよ。

第4回

2015 年 3 月 7 日（土）10:00-12:00

■ メイン・プログラム：

減災のことばを考え直す

プレゼンター

矢守 克也 Yamori Katsuya

京都大学防災研究所・阿武山地震観測所（兼任）教授

■ サブ・プログラム：

リニューアルする阿武山地震観測所のビジョンと、
阿武山サポーター制度のご紹介

本講座の第 2 回において、防災・減災について普段何気なく使っている言葉の意味をみなさまと共に考え直すことを通じて、防災・減災の新しいかたちを目指す糸口としました。今回は、その続編として、「津波てんでんこ」と「正しく恐れよ」という、3.11 以降よく使われるようになった 2 つの言葉を取り上げ、これらの言葉が何を伝えようとしているのか、託されたことを深めながら、私たちにこれから求められることを考えます。

あわせて、来る 7 月、阿武山地震観測所のリニューアルオープンに向けて、「地震学 × 減災学」の対話、「専門家 × 一般市民」の対話を続ける基礎固めの機会になればと願っています。

今回は、2014 年 11 月 15 日（土）第 2 回テーマ：「地震防災を“ふだん事”にするための工夫とは？」に続く連続企画として、当日寄せられたご質問から抽出したテーマをともに深める機会としてお届けします。前回ご参加の方もはじめての方も、お気軽にご参加ください。

■ 終了後オプション・プログラム：阿武山サポーター制度のご案内

メインプログラム終了後、隣接する別室にて「阿武山サポーター制度」に関する説明会を行います。（12:15-12:45 予定。）

ご関心のある方は、ぜひこちらにもご参加ください。

■お申し込み：ウェブサイトからお申し込みください。

2015 年 2 月 17 日（火）am 9:00 より受付開始、定員に達しましたら受付終了となります。

■お問い合わせ：現在、観測所が工事のため、電話・FAX の受付はございません。お問い合わせは WEB サイトから、または E メールでご連絡ください。

<http://abuyama.com>
info@abuyama.com

